

2018.6.15  
北信  
ローカル

# 飯山の山崎本店

飯山市で仏壇・仏具の製造・販売を営む山崎本店（山崎隆寛社長）は5月末、樹木や草花を活用した樹木葬霊園「花もみじ中野」の開園に向けて、中野市吉田にある曹洞宗の隆源寺（竹前民雄住職）の墓地一面で工事を着工し、今夏オープンを目指している。宗教・宗派を問わず利用でき、隆源寺が管理と永代供養をし、檀家となる必要がない。

# 樹木葬

吉田の隆源寺墓地の一面  
今夏オープン

「隆源寺」に予定している霊園はA区画とB区画の2カ所で広さは約20平方メートル。A区画では中心にシンボルツリーのもみじを植樹し、2人から4人用が27区画と最大8人まで納骨が可能な区画が4区画。B区画では1人から2人用までの区画を30区画を予定している。両区画一般的な墓石以外の場所ともに墓石代わりに石のプレート状のものを設置。区画購入者は年回忌法要の同じ年数分の埋葬期間を定め、その後は隆源寺の合葬

墓に移し永代供養する。初回分支払うだけで区画を購入できる。山崎社長（37・愛宕町）はこれからの時代を考えた



県内では最北端となる樹木葬霊園「花もみじ 中野」



飯島千鶴さん(バイオリン)

時に「今後はコンパクトになる」と確信。後継ぎがない家庭が増加している現状を鑑みて、永代供養の安心感を提供しようと樹木葬

に着眼した。しかし、霊園區画の確保に様々な寺院を訪問するが宗教を問わない利用方法の理解が得られず苦心。遠縁にあたる竹前住職に樹木葬の構想を話すと即座に快諾してもらい、実現に向けて進みだした。

希望者は当日会場へ。問い合わせは同社 22・3175まで。

「花もみじ 中野」は7月14日から16日までの3日間、隆源寺でオープン見学会を予定している。問い合わせは山崎本店 ☎ 62・3242へ。

竹前住職（68）は過去に運送業務、病院勤務をした経験から「周りが求めていることをする」と、一般民衆と一緒に歩ける敷居の低い寺を目指している。樹木葬については「少子化、熟年離婚などによって永代供養を求める人が増える」と捉え、「現代の利便性に合っている」と開園を歓迎している。

「花もみじ 中野」は7月14日から16日までの3日間、隆源寺でオープン見学会を予定している。問い合わせは山崎本店 ☎ 62・3242へ。

希望者は当日会場へ。問い合わせは同社 22・3175まで。

引越等、ご家庭で不用になった家具類の処分  
**ご家庭の粗大ゴミ引き受けます!!**


ダンボール


雑誌類

新聞

缶

持ち込み無料です





ご家庭の不用品処分のことなら、ご相談ください